

農縁だより

沼田市の農業をもっと身近に！



第6号

令和6年6月3日発行

編集・発行 沼田市農業委員会事務局
沼田市下之町888 Tel.0278-23-2111

『ぬまた農縁』準備中!!

まもなく、ぬまた農縁第1回(6月15日(土))が開催されます。
第1回では、「芋植え」や「そば打ち」、「足湯」を企画しています。
先日、農業委員と事務局で打ち合わせを行いました。今後は、そば打ち会場である南郷の曲屋でも打ち合わせをして、参加者に楽しんでいただけるように、精一杯準備していきたいと思います！



打ち合わせの様子



全国農業委員会会長大会

5月29日に文京シビックホール(東京都文京区)で開催された「令和6年度全国農業委員会会長大会」に沼田市農業委員会長が出席しました。大会終了後には、議員会館にて、5班に分かれて、群馬県選出の国会議員へ大会議案の要請活動を行いました。

利根沼田の各農業委員会長を代表して、沼田市の金井会長から尾身朝子衆議院議員及び中曽根康隆衆議院議員へ要請書を手渡しました。その後、金井会長を始め、各会長から中曽根議員と農業についての意見交換を行いました。このように、沼田市の農業発展のために、様々な場所で農業委員や農地利用最適化推進員が活躍しています。

要請書を手渡す金井会長



令和6年度全国農業委員会会長大会



要請書を手渡す金井会長



農業委員会からのお知らせ

地域の目指すべき将来の農地利用の姿を明確化する計画(地域計画)や目標地図を策定するため、農業者や農地所有者向けの農業経営に関する今後の意向等についてアンケートを実施しています。みなさまのご協力をお願いいたします。また、9～10月頃には農業者を中心として、それぞれの地域ごとに「地域の農地を誰が利用し、農地をどのようにまとめていくか」、「地域農業をどのように維持・発展させていくか」の座談会を行い、目指すべき将来の農地利用の姿を明確化する『地域計画』を策定します。ぜひ多くの方にご参加いただけますよう、重ねてお願いいたします。

～農業委員会 リレートーク～

リレートーク4人目は、小林由喜子さんです。
利根町多那でこんにゃくや味噌を作っています。

我が家は、路地野菜を主体とした専業農家です。子供と私たち夫婦の3人で営農しています。夏場の7～8月にきゅうりの収穫時期だけ、パートを雇い、農作業を行っています。

私は、収穫した農作物の中で捨てられてしまうものを見て「もったいない」という気持ちから、こんにゃくやきゅうりなど農産物の加工を始め、直売所やデパートに出荷しています。

加工品の販売をするため、月に2～3回県内各地で開催されているマルシェに4～5人の仲間と参加することが、良い気分転換になっています。友人達との他愛もない会話や消費者との対面での販売は、ストレス解消や脳の活性化にもなっています。いつまで続けられるかわかりませんが、これからも

楽しく農業をしていきたいと思っています。
(農業委員 小林由喜子)



栗の渋皮煮



春山明子の野生動物被害対策コラム「④沼田市の夏の農業被害」

こんにちは。私は、野生動物による被害対策の仕事をしている株式会社群馬野生動物事務所の春山明子です。今回は、野生動物による農業被害が多い夏期の被害防止対策をまとめてみました。

令和5年度に、沼田市内で野生動物の目撃や被害の連絡があった346件の通報のうち、7・8月の2ヶ月間で通報が多かった内容を説明します。野生動物は、カロリーが高い物を好んで食べます。夏期は、甘い果樹や畑の豆類が農地にできるため、低カロリーな自然の餌よりも、高カロリーかつ甘い農作物を好むため、農業被害が多く発生します。また、餌となる農作物が人家の周りにあるため目撃も増えます。

令和5年度の沼田市内の農業被害作物は、「水稻」と「トウモロコシ」が同数でトップでした。前回3月発行号で紹介したトウモロコシの被害対策は、その代表的な事例です。

実は、水稻もイノシシやシカの好物で、登熟期の膨らみ始めた穂を食べられる被害が多いのはこのためです。この季節の粃を指で押しつぶすと乳液状の甘い汁が出ますが、これが野生動物の好物なのです。そのため、水田に電気柵を設置する場合は、**この時期からの設置をする**ことで被害を抑制できます。多くの皆さんが考えるよりも早い時期から対策が必要なことを理解しておいてください。このための電気柵のワイヤーの間隔は、20cmでかつ5～6段を推奨しています。

また、夏期に被害が増加するサル群への対策は、**積極的な追い払い**が有効です。池田地区とみなかみ町を行き来している発知群は、住民の方々の繰り返しの追い払いによって、滞在日数の減少とともに、被害も激減しました。平成27年度には年間129日も沼田市内に滞在していましたが、令和5年度の滞在日数は38日であり、9年間で1/3に減少しました。知能が高いサルは、嫌な思いをした場所や人を覚えていて、サルが嫌うしつこい追い払いをされた場所への出没は減少します。その為のサルの追い払いとは、**駆逐用煙火のような大きな音がする花火を使用**することが望ましく、**林縁や可能であれば林内までサルを追う**ことが、知能の高いサルに対してはとても重要です。野生動物の被害が増加する夏期の前に、もう一度恒常柵や電気柵の点検をおこない、駆逐用煙火を準備するなどして、被害対策の態勢を整えてください。



農林課からのお知らせ

沼田市では、令和2年12月24日にウッドスタート宣言を行い、木育(もくいく)に取り組んでいます。活動の一環として、市内で生まれ、新たに市の住人になる赤ちゃんに「つみき」をプレゼントしています。

令和6年4月1日から「てんぐつみき」に加え、「りんごつみき」も増え、どちらのつみきも、沼田市産の木材を使用して、市内の木材加工業者により手作りされ、沼田の魅力が詰まっています。

つみきを通して、沼田の良さを感じてほしいと思っています。

木育事業

沼田市誕生祝い品



【誕生祝い品】



【森林環境譲与税】



※森林環境譲与税を活用し、木のおもちゃをプレゼントしています。

編集後記

今年も農縁だよりを担当しております、石坂と申します。よろしくお願いいたします。今回は、今年度最初の農縁だよりです。農縁だよりが、皆様の農作業の役に立ったり、農業に興味をもってもらうきっかけになると嬉しいです。

※訂正

3月1日付けの農縁だより、「今こそ力を合わせよう！」の中で「板東眞理子さん」とあるのは誤りで、正しくは「坂東眞理子さん」です。お詫びして、訂正いたします。

農業委員会事務局 石坂 万陽

